お手玉作りに参加して・・・

（ホ３　秋谷）

最近、お手玉が脳に活性化を促進し**「認知症予防につながる」**ということが発表され、ホ号棟の体操教室でも設立当初からお手玉遊びが繰り入れられておりました。

【サロン・タマリバー】でもお手玉を作ろう（希望者）ということになり、急遽私がお手玉作りの先生となりました。

4 枚の布を合わせる座布団型のお手玉です。

果たしてこんな面倒なことを何人の方が参加してくれるのやらと半信半疑で始めた第 1 回目、私は頭がガーンと殴られたような大きなショックを受けました。

リュウマチで両手の指が不自由な年配の方が、左手に針を持ち細い針穴に糸を通してもらいながら、黙々として小さなお手玉を作り上げたのです。私は、その力強さと努力を目のあたりにして感激で涙があふれそうになりました。

また、80 歳くらいの穏やかな方が、素敵な色の風呂敷を寄付してくださり、配色を一段と引き立たせ、作る喜びを味わいました。

そして子どもの頃どうしても覚えられなかったので、今年こそ作りあげたいと挑戦し、出来上がったお手玉を手の平に乗せて喜んでおられるのをみて、私も一緒に喜びをいただきました。

幸せが幸せを呼ぶのでしょうか。

今まで見たこともなく聞いたこともなかった、仕立職人が使う「針」を役員の方からいただきました。これは京都の友人から贈られたものだそうです。おかげで、この針の抜群の縫い心地の良さと、プロの腕のすごさを実感することができました。これも感動のひとつです。

回を重ねるごとに大きな勇気と、周囲の支援を受けながら私自身も変わってきました。子どもの頃、母から教わったお手玉の作り方が古希になった今、少しでもお役に立てるのなら、しっかりとお手玉の先生に“なろう”と決めました。

毎日イヤなニュースが続き誰を信じて良いか解らぬ昨今、**「タマリバーの集い」**は**心のふるさと**のような温かさと安らぎを感じます。運営される皆様に感謝と敬意を表し、これからも多数の方との出会いを楽しみにしております。

たかがお手玉、されどお手玉